

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガーラ

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長 (氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	424	△68.1	△182	—	△144	—	△188	—
25年3月期第2四半期	1,332	△43.1	△406	—	△361	—	△213	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △236百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△17.68	—
25年3月期第2四半期	△20.13	—

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	534	44	△9.8	△4.70
25年3月期	722	188	13.2	8.95

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 △52百万円 25年3月期 95百万円

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,173,000 株	25年3月期	10,623,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	10,665,076 株	25年3月期2Q	10,623,000 株

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高 424,934千円（前年同四半期比68.1%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、当社グループの主力事業であるオンラインゲーム事業の欧米子会社を前第3四半期連結累計期間をもって、株式譲渡により連結から除外した影響、データマイニング事業国内子会社を前第1四半期連結累計期間をもって株式譲渡により連結から除外した影響及びオンラインゲーム事業の主力ゲームの売上高が中国を除き全地域で減少したことによるものであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の削減を進めておりますが、スマートフォンアプリ事業の開発費用の計上により、営業損失182,325千円（前年同四半期営業損失406,976千円）、経常損失144,389千円（前年同四半期経常損失361,880千円）四半期純損失188,561千円（前年同四半期純損失213,819千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度に欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、前連結会計年度に南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社から除外したことにより、「米州」を「米国」に名称変更しております。

#### ① 日本

日本セグメントでは、経営効率化を目的に㈱ガーラジャパンのオンラインゲームパブリッシングサービスを韓国子会社Gala Lab Corp.に移管し、オンラインゲーム運営の一部業務をGala Lab Corp.から受託により提供するビジネス構造に変更し、㈱ガーラジャパンは大幅に規模縮小化を図りました。また、前第1四半期連結累計期間をもってデータマイニング事業会社㈱ガーラバズを株式譲渡により連結から除外しているため、当第2四半期連結累計期間の日本セグメントにおける主な売上高は国内子会社㈱ガーラウェブのその他事業（ホームページ制作・保守、コミュニティ関連サービス）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、当社、㈱ガーラジャパン及び㈱ガーラポケットのスマートフォンアプリ事業におけるアプリのサービス開始に向けた準備を前連結会計年度から継続して実施しており、㈱ガーラポケットでは、コミュニケーションアプリ「Pleez」（プリーズ）をリリースいたしました。

また、その他事業において、「オンライン戦略MG」がビジネスゲーム実習の授業の教材として、北海道立の商業高校を中心にご利用を開始いただきました。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は95,274千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で253,828千円（72.7%）の減収となり、セグメント損失が157,816千円（内部取引を含む。前年同四半期は135,344千円の損失）となりました。

## ② 米国

米国セグメントでは、スマートフォンアプリ事業子会社Gala Innovative Inc.で、前連結会計年度からゲームアプリの開発に向けた準備を進めておりましたが、第1四半期連結累計期間において、事業資金不足や人材確保が困難になるなど経営状況が悪化し、事業活動の継続が難しい状況となったことから、当第2四半期連結累計期間に事業活動を停止いたしました。このため、当第2四半期連結累計期間における米国セグメントの売上高の計上はありません。セグメント損失は30,590千円（内部取引を含む。前年同四半期は124,244千円の損失）となりました。

なお、米国子会社における事業再開は当面予定しておりません。

## ③ 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で日本向けのオンラインゲームパブリッシングが移管されたことにより、各地域における主力ゲームの売上高は減少傾向にあるものの、第1四半期連結累計期間から日本向けの売上高が増加要因となり、売上高は358,435千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で65,346千円（22.3%）の増収となり、セグメント利益が15,058千円（内部取引を含む。前年同四半期は98,835千円の損失）となりました。

なお、Gala Lab Corp.において、スマートフォンアプリ事業でゲームアプリ「Dungeons & Golf」（ダンジョンズ・アンド・ゴルフ）の第3四半期連結会計期間からのサービス提供開始に向けて開発を進めております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて144,740千円減少し、44,034千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が155,547千円減少し、売掛金が46,721千円減少し、流動資産のその他が60,584千円増加いたしました。負債では流動負債のその他が12,665千円減少し、長期前受収益が12,628千円減少いたしました。純資産では利益剰余金が188,561千円減少し、また、為替換算調整勘定が47,616千円減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第2四半期連結累計期間においても売上高は424,934千円、前年同四半期比68.1%減少となり、営業損失182,325千円及び四半期純損失188,561千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

当社グループでは、当該状況等を解消し、または改善するための対応策として、① スマートフォンアプリのライセンス取得と各種言語版の開発とその提供、② 組織体制及び人員配置の見直し、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は「4. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	362,961	207,413
受取手形及び売掛金	129,085	82,363
その他	24,226	84,810
貸倒引当金	△324	△318
流動資産合計	515,948	374,270
固定資産		
有形固定資産	2,027	4,824
無形固定資産		
ソフトウェア	14,319	29,530
ソフトウェア仮勘定	—	4,494
権利金	10,734	—
その他	168	368
無形固定資産合計	25,222	34,393
投資その他の資産		
長期預金	47,005	—
長期貸付金	76,500	84,687
破産更生債権等	23,062	23,062
敷金及び保証金	50,310	29,814
その他	3,117	3,348
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	179,692	120,610
固定資産合計	206,942	159,828
資産合計	722,890	534,098
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,737	9,689
短期借入金	42,000	27,300
1年内返済予定の長期借入金	3,360	10,920
未払金	59,086	66,628
前受金	41,848	42,176
未払法人税等	16,184	940
賞与引当金	5,310	4,409
その他	119,568	106,903
流動負債合計	301,096	268,967
固定負債		
長期借入金	10,080	3,640
長期前受収益	88,880	76,251
退職給付引当金	100,617	91,113
その他	33,441	50,090
固定負債合計	233,019	221,095
負債合計	534,115	490,063



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,582	2,215,857
資本剰余金	700,041	744,316
利益剰余金	△2,402,919	△2,591,481
株主資本合計	468,703	368,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	119
為替換算調整勘定	△373,726	△421,343
その他の包括利益累計額合計	△373,611	△421,224
新株予約権	93,683	96,567
純資産合計	188,775	44,034
負債純資産合計	722,890	534,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,332,230	424,934
売上原価	304,921	125,156
売上総利益	1,027,309	299,778
販売費及び一般管理費	1,434,285	482,103
営業損失(△)	△406,976	△182,325
営業外収益		
受取利息	3,113	2,006
為替差益	47,729	36,003
その他	467	2,219
営業外収益合計	51,309	40,229
営業外費用		
支払利息	2,728	2,281
特別退職金	3,156	—
その他	329	12
営業外費用合計	6,213	2,294
経常損失(△)	△361,880	△144,389
特別利益		
新株予約権戻入益	10,214	4,166
関係会社株式売却益	279,659	—
契約解除益	—	3,506
特別利益合計	289,873	7,672
特別損失		
減損損失	31,854	15,952
本社移転費用	—	2,164
その他	4,373	—
特別損失合計	36,227	18,116
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,234	△154,833
法人税、住民税及び事業税	10,792	10,513
過年度法人税等	—	23,215
法人税等調整額	98,790	—
法人税等合計	109,582	33,728
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,817	△188,561
少数株主損失(△)	△3,997	—
四半期純損失(△)	△213,819	△188,561

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,817	△188,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,474	4
為替換算調整勘定	△104,486	△47,616
その他の包括利益合計	△107,960	△47,612
四半期包括利益	△325,777	△236,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△317,002	△236,174
少数株主に係る四半期包括利益	△8,774	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,234	△154,833
減価償却費	139,950	9,464
減損損失	31,854	15,952
のれん償却額	69,233	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△279,659	—
株式報酬費用	6,152	7,049
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,464	△900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△74	131
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,584	△17,495
受取利息及び受取配当金	△3,113	△2,006
支払利息	2,728	2,281
新株予約権戻入益	△10,214	△4,166
契約解除益	—	△3,506
退職一時金	3,156	—
売上債権の増減額(△は増加)	74,424	53,556
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,214	△4,048
前受金の増減額(△は減少)	△6,353	△2,619
その他	6,691	△73,799
小計	△106,722	△174,939
利息及び配当金の受取額	4,962	1,705
利息の支払額	△5,412	△7,687
法人税等の還付額	3,569	1,945
法人税等の支払額	△12,261	△50,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	△115,862	△229,507
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,332	△2,400
有形固定資産の売却による収入	3,081	121
無形固定資産の取得による支出	△182,259	△1,270
関係会社株式の売却による収入	281,861	—
差入保証金の差入による支出	—	△11,272
差入保証金の回収による収入	20,669	—
預り保証金の受入による収入	—	4,450
貸付金の回収による収入	930	3,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,950	△6,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,689	△18,200
長期借入金の返済による支出	△24,978	—
株式の発行による収入	—	88,550
リース債務の返済による支出	△844	—
その他	—	245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,511	70,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75,309	△40,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△217,732	△206,232
現金及び現金同等物の期首残高	461,332	315,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	243,599	109,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)は、前連結会計年度において営業損失820,547千円及び当期純損失2,268,566千円を計上しております。また、当第2四半期連結累計期間においても営業損失182,325千円及び四半期純損失188,561千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において平成25年4月にライセンス取得したアプリのグローバル展開に向けて、Gala Lab Corp. でゲームアプリの開発を進めており、(株)ガーラポケットでも新規アプリの開発及び新規ビジネスの準備を進めております。今後もアプリタイトルの増加や新規ビジネスによる収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で大幅な人員及び経費の削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、平成25年9月17日に第三者割当増資を実施しましたが、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して引続き協議を進めるとともに、更なる増資による資金調達も検討してまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリケーションの開発の進捗状況、市場投入の時期、環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年9月17日付で、菊川曉氏(当社代表取締役)から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が44,275千円、資本準備金が44,275千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が、2,215,857千円、資本剰余金が744,316千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	232,556	320,862	656,734	122,076	1,332,230	—	1,332,230
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	116,546	554	87	171,012	288,201	△288,201	—
計	349,103	321,416	656,822	293,089	1,620,431	△288,201	1,332,230
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△135,344	△124,244	△50,655	△98,835	△409,079	2,103	△406,976

(注) 1. セグメント損失の調整額2,103千円は、セグメント間取引消去2,103千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社を含めたことにより、「米国」を「米州」に名称変更し、当該連結子会社を「米州」としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメントについて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において31,854千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	韓国	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	76,063	—	348,871	424,934	—	424,934
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,210	—	9,564	28,775	△28,775	—
計	95,274	—	358,435	453,710	△28,775	424,934
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△157,816	△30,590	15,058	△173,349	△8,975	△182,325

(注) 1. セグメント損失の調整額△8,975千円は、セグメント間取引消去△8,975千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度に、欧州子会社Gala Networks Europe Ltd.を連結子会社から除外したことにより、第1四半期連結会計期間から「欧州」セグメントはありません。また、南米子会社Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社から除外したことにより「米州」を「米国」に名称変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメント及び「米国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、「日本」セグメント14,612千円、「米国」セグメント1,339千円であります。

## (重要な後発事象)

## 株式分割及び単元株制度の採用について

当社は、平成25年5月15日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で株式分割及び単元株制度の導入を実施いたしました。

## (1) 株式分割、単元株制度の採用の目的

平成19年11月27日に、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、株式の分割を実施するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の金額の実質的な変更はありません。

## (2) 株式分割の概要

## ①分割の方法

平成25年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の所有する普通株式1株につき、100株の割合をもって分割いたしました。

## ②分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	111,730株
今回の分割により増加した株式数	11,061,270株
株式分割後の発行済株式総数	11,173,000株
株式分割後の発行可能株式総数	39,292,000株

## ③分割の日程

基準日公告日	平成25年9月14日(土曜日)
基準日	平成25年9月30日(月曜日)
効力発生日	平成25年10月1日(火曜日)

## (3) 単元株制度の概要

## ①新設した単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

## ②新設の日程

効力発生日 平成25年10月1日(火曜日)

(参考) 平成25年9月26日(木曜日)をもって、東京証券取引所における売買単位も100株に変更されました。